

風

かぜ

カゼ 2005.3-16 No.79

◇南無は「ナモ」か「ナム」かの続き

「ナモアマダブツ」とは「仏さまにお任せします」「仏さまありがとう」等の意味合いを持っている仏さまへのご挨拶のことと前号に書きましたが、実はアメリカへ開教使として派遣された某氏が南無阿弥陀仏の意味を、現地の信者に「サンキュウブツ」の意と解して話したら理解してもらえたと聞いたことがあります。仏さまありがとう 素晴らしい深みと響きの言葉と感心しました。

ご挨拶のお念仏として今思い出します方に恩師S和上がおられます。和上は話の合間合間にも常にお念仏を称えておられました。如来さまとご挨拶なさっていたのでしょ。対話を楽しんでおられたように思います。

私たちもご挨拶として「ナンマンダブ」と、称名したいものです。信心も称名からと言われていきます。信なくば/つとめてみ名を称すべし/み名から開く/信心の花 心に深く響くことばです。

◇歎異抄に聞く会にご参加を

お彼岸の中日(3/20pm1:00)に安楽寺本堂で「歎異抄」の五章を中心に聞く会を開きたいと思えます。都合をつけご参加下さい。

◇今月の安楽寺伝道掲示板

過去にとらわれてはならない
未来を待ち望んではならない
現在の一念に生きよ

法句経